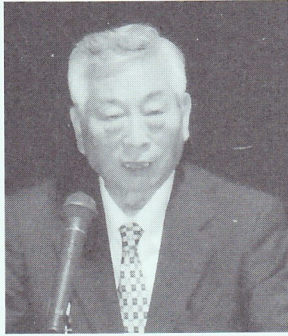
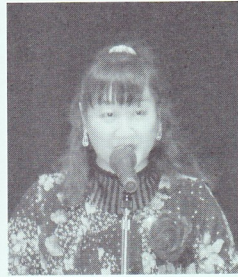


文化講演会 「野口英世 in 金沢」

～講演と音楽を楽しむっどい～



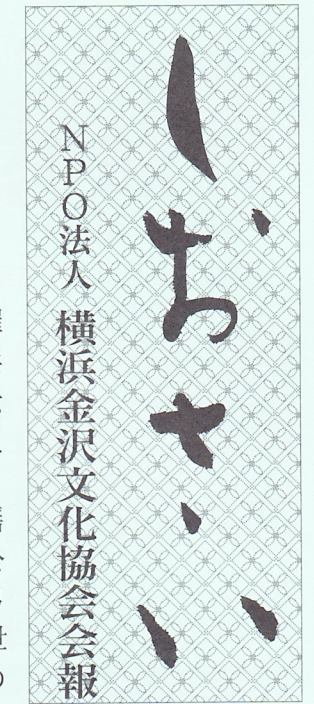
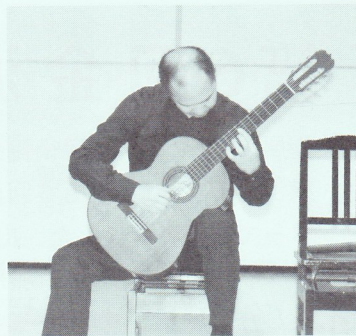
八子彌壽男理事長



阿部きみえさん

平成25年11月4日(月・祝)午後1時から金沢公会堂に満席に近い観客を集めて開催した。この企画は、野口英世博士と横浜それも金沢区とのゆかりを広く区民に伝える絶好の機会と、半年前から実行委員会形式で準備を進めてきた事業である。司会の民謡歌手、阿部きみえさんの民謡「会津磐梯山」で幕を開けた第1部は、公益財団法人野口英世記念会の八子彌壽男理事長を猪苗代町からお呼びし、「野口英世

の人となり」をスライドを使い講演を頂いた。第2部では、野口英世の生きた時代の音楽を、当文化協会会員の音楽家、斎藤真理恵さんのピアノ、東隆幸さんのギター、佐伯葉子さんのソプラノ独唱、横浜並木男声合唱団の合唱と、最後は文部省唱歌「野口英世」の全員合唱で締めくくった。観客に息もつかせぬ熱演等大いに沸いた文化講演会となり、今後の当協会の事業に夢を繋げた。



NPO法人
横浜金沢文化協会
編集人 野中 建吾
☎ 781-5044
発行人 橘川 和夫
印刷 幸栄印刷(株)
☎ 716-3366



野口英世フェア

昨年10月27日(日)、長浜ホールにて、同ホール主催・野口英世金沢委員会共催の恒例行事「野口英世フェア」が開催され、今回は同委員会幹事(文化協会事務局長)の坂直孝氏が「坂家に伝わる若き日の野口英世5通の手紙」と題する講演を行った。坂氏の祖父・誠は野口よりも1年長で少年期から野口とは友人。5通の手紙は、野口の渡米直前までの青春期の物で、手紙の現物も展示された。坂氏は24頁のテキストに加え貴重な写真映像を交え約1時間熱弁をふるい、38人の野口ファンを魅了した。同講演会を挟み午前・午後の2度、1992年封切りの松竹映画「遠き落日」が上映され、野口英世を懐かしんだ有意義な一日であった。



2013/10/27



青少年健全育成事業

海苔づくり教室

恒例の「海苔づくり教室」が、3月8日(土)に、野島青少年研修センターと同センター前の公園スペースで実施された。この事業は、金沢区より文化伝承事業として委託を受け、横浜金沢文化協会会員を中心に結成されている「海苔づくり実行委員会」が実施している。今回は区内の小・中学生34人と保護者31人が参加した。快晴・無風という絶好の条件下、新たに導入された「海苔漉し台」を使い、実行委員会のスタッフの指導の下、3つのグループに分かれ、①海苔切り、②海苔つけ、③海苔干しのそれぞれの行程を行った。参加した人たちにとっては、ほとんど初めての体験であったが、徐々に手際よく作業を終えた。参加者は、海苔が乾燥するまでの時間を有効に活用する



ため、「海苔の生態」「海苔づくりの歴史」等についてビデオ等による解説を受け、また昼食時には、「生ワカメ入り味噌汁」を味わった。午後からは、横濱金沢シティガイド協会メンバーの案内・解説により野島公園内の史跡などを見学しつつ展望台まで散策。その後参加者は、良い天候で乾燥する海苔の音を聞きつつ、手作りの乾燥海苔を収穫し、満足して、足取りも軽く家路についた。

見る楽しみ・描く楽しみ・発表する喜び!

公募第6回 金沢区美術展

会場：能見台地区センター2階
 京急能見台駅下車 徒歩5分(イトーヨーカドー横間向かい)
 会期：2013年11月21日(木)～26日(火)
 午前10時～午後5時まで(最終日：午後2時まで)

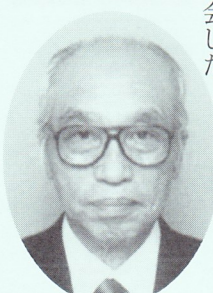
「地域の作品展」同時開催

主催：金沢区美術協会
 後援：金沢区役所・能見台地区センター・WPOはな 横浜金沢文化協会

公募 第6回 金沢区美術展

公募金沢区美術展(主催=金沢区美術協会、後援=品川区役所・能見台地区センター・横浜金沢文化協会)も6回目を迎え、11月21日から6日間、能見台地区センターで開催されました。出展数は135点(油彩・水彩・水墨・日本画・アクリル・パステル・切り絵・彫刻)と幅広いジャンルの作品が展示されました。展示

作品数は昨年とほぼ同数でしたが、作品の大型化や内容のレベルアップなどが認められ、来賓の市内各区の美術団体並びに美術関係の皆様から高い評価を戴きました。さらに、今回はビデオプロジェクターでの作品と作者のコメントを紹介しました。招待者・会員・出展者とのサロンの懇親会など従来より一歩も二歩も深みと幅のある美術展となりました。



片岡順一氏

平成25年9月29日(日)午後1時より、金沢地区センターにて開催。100名を超える大勢の参加者が集まった。第1部の講師は、二科会写真部会員・横浜金沢写真連盟片岡順一理事長で、「日本の写真の歴史は横浜から始まった!」と題し、スライドを使い講演。自身の作品も公表され、参加者の興味を引いた。第2部は一般社団法人日本写真作家協会事務局長の竹上正明講師による「デジタルフォトを楽しもう!」と題した講演。講師の作品紹介、デジタルフォトの合成テクニックの数々。この世界では日本の第一人者で、映し出される造形に参加者は驚嘆の声を上げていた。質疑の後、午後4時半に閉会した。



竹上正明氏



第1回

写真セミナ

横浜金沢写真連盟

第25回金沢区民文化祭は、平成25年10月11日から12月8日までの間、金沢区民文化祭実行委員会主催、金沢区役所共催、NPO法人横浜金沢文化協会後援により、次の通り9行事が実施されました。

第25回 金沢区民文化祭



☆区民の作品展☆ 金沢区民文化祭実行委員会 10月11日(金)～15日(火) 金沢地区センター体育館

「区民の作品展」は、区民及び区に関係する人達から公募した各文化部門の作品を、一堂に集めた楽しくて親しみのある展示会です。各文化部門とは、絵画・写真・書道・文芸(俳句・短歌)・手工芸です。会場である金沢地区センター体育館の入口内には、金沢華道会による巨大な生花の力作が飾られて、会場を明るくかつ和ませておりました。今回は、出展者が約330人、入場者は約1100人と、成功裡に推移しました。同時に、区内の小・中学生の作品も展示しましたが、出展した生徒の家族・友人・関係者らの入場により、会場に活気が漲り、好評でした。



☆華道展☆ 金沢華道会 10月12日(土)～13日(日) 金沢地区センター2階大会議室

「一花一葉一木の命」に感動し、この道に限りない思いを寄せている者同志が、お弟子さんと共に、作品を発表いたしました。鑑賞して頂く皆様に感動を与え、心ませる美しい表現を目指して、会場には、各流派の力作が勢揃いしました。また今回は、新しい試みとして、小さな作品ですが、皆様に手ずから生けてみていただく「体験コーナー」を設けて好評でした。



☆金沢三曲演奏会☆ 金沢三曲会 11月3日(日・祝) 金沢公会堂

菊薫る秋の一日、邦楽の調べをお届けしています。総勢24名による八橋検校作曲「六段の調」の大合奏で幕を開け、平成に作曲された現代曲から江戸時代にさかのぼる古曲まで、バラエティに富んだ様々な曲が演奏されました。また、昨年初演された「風のダイアログ」を流派を超えて合同演奏しました。最後は尺八の曲です。「平和の山河」を、舞台上に勢揃いした男性奏者が力強く演奏し、盛会裏に終了しました。



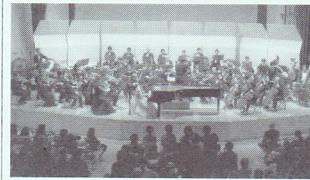
☆お茶会☆ 金沢茶道会 10月13日(日) 金沢地区センター2階和室・ロビー

秋の良き日に、日本文化伝承の茶会を開きました。和室(表千家)では、床に妙喜庵、竹田士延筆の画賛をかけ、扇棚でのお点前でした。ロビー(裏千家)では、「安分以養福」の色紙をかけ、御園棚に鹿子の大槌焼水指を添えて皆様をお迎えました。お出ししたお菓子は、金沢さかくら製の木守柿、紅谷製のおまんじゅうです。季節感を十二分に出して180人のお客様をお迎え出来て、茶道会会員一同、満足のいく一日でした。



☆金沢シンフォニカプロムナードコンサート☆ 横浜金沢交響楽団 11月24日(日) 金沢公会堂

「こうもり序曲」で幕開けたコンサートは、第一部にヨハン・シュトラウスのワルツやポルカの演奏。第二部はアメリカの音楽を披露。「風と共に去りぬ」「タラのテーマ」「エデンの東」等懐かしの映画音楽が観客を魅了しました。第三部では、文化協会員でもあるピアニスト齋藤真理恵さんとの協演で、「ラブソディー・イン・ブルー」を熱演。齋藤さんの美しく素晴らしいピアノ演奏に、満席の公会堂が酔いしれた素敵な演奏会でした。



☆金沢区音楽のつどい☆ 金沢区音楽のつどい実行委員会 10月20日(日) 金沢公会堂

練習拠点を金沢区に置いている音楽団体が、毎年10月の第三日曜日に、日頃の練習成果を発表しています。音楽文化の向上とお互いの親睦を図ることを目的としています。構成は30団体。朝から雨が降り、足元の悪い中、多くの方々がご来場下さり、家族や友達の音を楽しんでいる姿を『見て』『聴いて』下さいました。最後に「かなざわの四季」を、会場の皆様と一緒に歌い、楽しいうちに終了することが出来ました。



☆金沢区日本舞踊連盟公演☆ 金沢区日本舞踊連盟 12月1日(日) 金沢公会堂

金沢区日本舞踊連盟の公演も、今年は19回目を迎えることとなります。私達は、本当の日本舞踊を区民の皆様に伝えたく、松竹衣装かつ道具、小道具、照明など、金沢では今までにない舞台を作っております。昨年12月1日の公演には、お客様も大勢ご来場頂き、「また、拝見したいです」などとの、うれしい言葉を頂いております。これからも、良い舞台を作っていくと決意しております。



☆吟と舞の祭典☆ 金沢区吟剣詩舞道連盟 10月26日(土) 金沢公会堂

昨年は「創立15周年記念大会」を開催しました。恒例の「金沢八景詩」「歌謡吟詠コンクール」「各会の合吟」等は例年通りのプログラム。今回は記念大会のため、構成番組を中心に行うこととなり、世界遺産に登録された富士山をテーマにした和歌・漢詩を、第1部「富嶽を詠ず」、第2部「近代日本の夜明」、第3部「子を思う親・親を思う子・母を憶う」、第4部「日本の名城物語」等、吟・剣・舞を会員の熱演で会場に感動を与えました。今年もチャリティを行い、金沢区社会福祉協議会へ贈呈し、3月1日に同協議会より、福祉功労者感謝状を頂きました。



☆金沢区小・中学校音楽祭☆ 金沢区小・中学校音楽祭実行委員会12月8日(日) 金沢公会堂

13回目を迎えた今年は、高舟台小学校、能見台南小学校、文庫小学校、六浦中学校、西柴中学校、横浜中学・高等学校の6校が、合唱・マーチングバンド・吹奏楽の演奏をして日頃の活動の成果を披露しました。ご協力下さった各校の先生方の熱意あるご指導のもと、レベルの高い素晴らしい演奏は満員の会場を大いに湧かせました。一生懸命演奏した後の彼等の生き生きとした満足いっぱいの表情に深く感動しました。



横浜金沢を詠う 第10回 俳句短歌表彰式

横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会主催の「俳句短歌ポスト制度」の第10回(平成25年度前期)表彰式が10月31日(木)、金沢区民活動センターにて行われました。
次に被表彰作品を紹介します。

【俳句の部】

☆横浜市金沢区長賞

(天位) 阿字ヶ池美女石煙り菜種梅雨

(地位) 金沢区富岡西 磯野 鎮雄

(地位) 蝉時雨降り注ぐなり瀬戸神社

(地位) 金沢区六浦東 坂本 一生

☆横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員長賞

(天位) 山門をくぐれば匂ふ牡丹かな

(地位) 藤沢市大庭・駒寄 椎名 敏夫

(地位) 輝落ちる俺の青春終わりかな

(地位) 金沢区並木 中巻 佐藤 龍也

☆横浜金沢文化協会理事長賞

(天位) 古文書の息づく庫やせみしぐれ

(地位) 金沢区六浦 佐藤 良二

(地位) 鐘樓に桜蔭降る称名寺

(地位) 金沢区東朝比奈 遠山 輝夫

☆横浜金沢観光協会賞

(天位) 土用波平瀉湾にとがりくる

(地位) 金沢区並木 田所 正章

(地位) 一湾の遙かに烟る五月富士

(地位) 金沢区寺前 上原 宏江

☆横浜金沢シテイガイド協会理事長賞

(天位) いにしへの六浦は塩場油照り

(地位) 金沢区東朝比奈 森川 享

(地位) 平瀧へ帰帆次々鱈雲

(地位) 金沢区東朝比奈 室田 辰憲

【短歌の部】

☆横浜市金沢区長賞

釜利谷の森の奥より言葉の如く
寄せ来るかなかなのこゑ

(地位) 金沢区六浦南 岩澤 正春

☆横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員長賞

「淵をゲットしたぞ」と声すれば
バケツ投げ出し走り寄る子ら

(地位) 金沢区釜利谷西 橘川 礼子

☆横浜金沢文化協会理事長賞

称名寺の朱の橋に立ち手をたたく
園児らのもも鯉のむれ寄る

(地位) 金沢区釜利谷東 秦 正子

☆横浜金沢観光協会賞

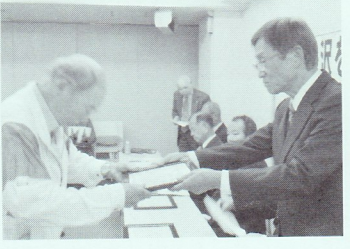
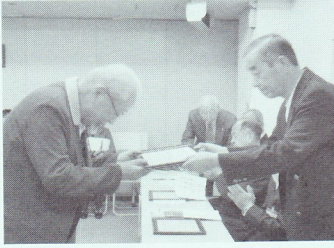
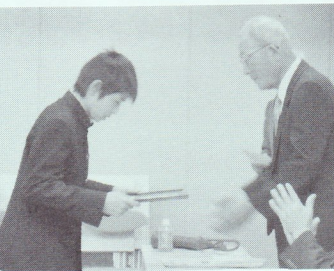
茶寄合伊藤博文別邸の
縁より見ゆる白砂青松

(地位) 金沢区六浦東 高橋 正毅

☆横浜金沢シテイガイド協会理事長賞

咲きほこる枝垂れ桜は誰がために
瀬戸の社の前で人待つ

(地位) 金沢区東朝比奈 高橋 杉本ありさ



文芸部活動報告

☆金沢区民俳句(吟行)大会結果☆

金沢俳句会では10月27日(日)、長浜公園での吟行後、並木コミュニティハウスにて26人の俳句愛好家を集めて、第15回「金沢区民俳句(吟行)大会」を開催しました。次に上位の作品を紹介します。

- ☆金沢区民短歌(秋季)大会結果☆
- 金沢区民歌人会では11月17日(日)、八景コミュニティハウスに29人の短歌愛好家を集めて、金沢区民短歌大会(秋季)を開催しました。次に上位の作品を紹介します。
- 風鈴をしまふ指よりこぼれ出づ
- 夏の名残の小さき音色
- 信号の赤はほどよき小休止
- 滲む汗ふきゴーサイン待つ
- 卒寿のあと白寿とやらが待ってゐる
- 辿り着けばのことにあれども
- 嫁してより遠のきてゐし故郷が
- 震災を期に身近に迫る
- 暑の去らぬ朝夕にして一つ事
- 決めかね仰ぐゆきあひの空
- 前をゆくトラックに立つ赤牛と
- 夕暮れの中ふとも目の合ふ
- 漆黒の寺苑の森に昇りたる
- 名月仰ぐ百寿となりて
- 小幡 友子
- 野中 建吾
- 田中 徳明
- 古堅 静枝
- 松本 隆男
- 井出 佳子
- 田所 正章
- 惣野 圭子
- 太田 修
- 大川 一馬
- 市川 定子
- 朝井 恭子
- 草柳 繁一
- 秦 正子
- 田中 正子
- 後藤 恵市
- 青木 久子



旧伊藤博文金沢別邸主催 「茶道体験教室」の実施

金沢茶道会では、11月24日(日)午後1時～3時の間、

旧伊藤博文金沢別邸にて、茶道未経験者対象の体験教室を催しました。小学校上級生以上の方で、「抹茶を出されたらどうしよう!」「抹茶って何?」「でも、やってみたい」などと思う方々を公募した結果、10名が集まりました。茶筌で抹茶をたてるグループと、茶室に入りお客様の作法を習うグループとの二班に分け、途中で交代しました。金沢茶道会会員によるきめ細かな指導で、大変好評のうちを終了しました。体験教室終了後も帰りがたくて、ほとんどの人が残り、会員と和やかに座談してから別れました。

第12回 「かなすい」クリスマス・チャリティー・コンサート



昨年12月22日(日)、金沢公会堂にて開催しました年末恒例のクリスマス・チャリティー・コンサート。お蔭様で、大勢のお客様にご来場頂きました。文化協会の国際交流事業としても、海外からのお客様をお招きし、楽しいクリスマスのひと時を過ごすことができました。第2部では、お馴染みのマリンバやスネアドラムでの超絶技巧の演奏、そして何でも楽器にしてしまうパーカッションの幅広い世界を、新進のプロ・パーカッション奏者に打楽器アンサンブルでご堪能頂きました。勿論、例年通り、ステージの団員だけではなく、客席のお客様のアットホームな応援も、「かなすいクリスマスならでは!」と団員一同の自慢です。改めて、皆様のご支援に感謝するとともに、今回のチャリティー額が92,557円となりましたことを、この紙面を借りて報告させていただきます。



音楽大冒険 ファミリーコンサート

2月22日(土)午後、金沢公会堂にて、「グループ組曲」主催の行事「ファミリーコンサート(音楽大冒険)」を鑑賞する機会を得た。来場者を観察すると、何と親子連れの多いこと。約300人の観客が会場を埋め、先ず第一部は、軽快な打楽器等の演奏に始まり、スウェーデン人女性2人による流暢なピアノ演奏と美しいメゾソプラノ歌唱と続き、次に話付きピアノ曲演奏が客の大きな拍手を呼んだ。第二部は、「くじら号のちきゅう大ぼうけん」と題する動画上映による写真と漫画ちっくな趣向の肩のほぐれる番組だった。親が子供を連れて来た理由がやっと解けた。子供たちの喜びの様子が見受けられ、「ファミリー(子供を含む家族)・コンサート」の行事名が十二分に理解できた。最後に、本日の出演者全員と来場者が、「故郷」を合唱して幕が下りたが、当コンサートの献立と美味に満足して帰る人々の軽い足取りが、はっきりと見てとれた。(見聞記。K・N)



金沢高校PTA混声合唱団 第2回演奏会



平成25年12月7日(土)、上大岡の「ひまわりの郷ホール」にて、第2回演奏会を開催しました。来場者は約250名と盛況でした。テーマは「四季」ということで第一ステージの曲目は「ふるさとの四季」、春の小川、茶摘み、夏は来ぬ、村祭り、雪ふるさとと皆様よくご存知の唱歌メドレーでした。第三ステージは「心の四季」、有名な作曲家高田三郎の作曲で人間の内面的な心を春夏秋冬に例えた難しい曲でした。一方、第二ステージでは、会場の皆様と一緒にクリスマスソングを歌い、師走の忙しい時期に心温まるひと時を過ごしました。演奏会が終ったばかりですが、次の第3回演奏会に向けて練習を始めています。歌の好きな方、一緒に歌いませんか。何時でも、大歓迎です♪



絵画部・三浦正雄会員

新春創造選抜展へ参加

私の毎年の初仕事は、全国に点在している作家の作品が、東京に集結し展示される「創造美術会洋画部新春選抜展」に参加することです。今年は、1月6日から12日の1週間、東京は京橋の「ギャラリーくぼた」で、58点の作品が展示されました。同展には、神奈川支部から8点の作品(内、金沢区からは、私の作品を含めて3点)が展示されました。会場は都心にあり横浜を含む首都圏からの来場者が多く、また出版社・新聞社の美術関係者の姿も見られる美術展です。私は昨年を引き続いて、今年は「11月22日・飛来」の題名で、20号の作品を出展しました。なお、創造美術会は一昨年11月に、神奈川支部主催により、称名寺で写生研修会を実施しています。

創造美術会 2014年
洋画部
初春選抜展
1月6日(月)~1月12日(日)
11時~18時 最終日15時まで
ギャラリーくぼた 4階 5階
ご来場取ります様ご案内申し上げます
ギャラリーくぼた
東京都中央区京橋2-7-11
TEL 03-2563-0003
連絡先
理事長 石塚 三吾 TEL 045-761-0035

《絵画部・小野剛会員の個展》 ～「君ヶ崎ギャラリー」にて～

昨年8月、金沢文庫郵便局内「君ヶ崎ギャラリー」に、水彩画を3枚飾らせて頂きました。展示の際、局長に「お客さんから『どこで描かれた絵でしょうか?』と質問され、返答に困ったことが、今までにあった」と、言われました。それを聞いて、絵の題名は描く人にとっては悩みですが、お客さんとしては、題名に書かれた場所を見て、「そこへ行ってみたい」とか「そこへは行ったことがある」とその絵に親近感を覚えるでしょう。私は今回展示の絵には、局長の要望に応じて「会津の冬景色」・「桃の花咲く甲斐路」・「大王わさび田の水車」と場所を入れた題名を添えました。見て頂いた方々に、懐かしさと安らぎを持って頂いたのでは、と思っております。



併せて、当協会会報「しおさい」と文化講演会「野口英世 in 金沢」の広報チラシを配架した。掲示作業中にも、数人が声を掛けて来て、文化協会の活動に関心を抱いた様子であった。

横浜金沢文化協会は、10月1日(火)から10月7日(月)の1週間、金沢区民活動センター(ゆめかもん)主催の「平成25年度パネル展」に参加した。同センター展示コーナーの壁側に、横浜金沢文化協会の活動スローガン等(高橋副理事長の墨書)を記し、各種活動(海苔づくり教室、塩田による塩づくり、吟と舞の祭典、小・中学校音楽祭、華道展、茶会など)の大型写真(一之瀬監査撮影)を貼付した大型広報紙を掲示した。

平成25年度 パネル展への参加

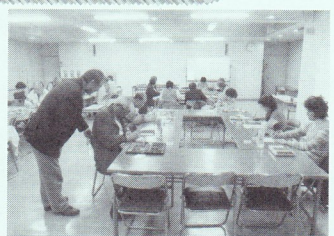
1月20日(月)午後5時から金沢園において、役員会に引き続き、深津副事業部長の司会により「新年会」が開催された。所用で欠席された橘川理事長に代わり、後藤会長から、理事長のメッセージ披露。松野、片岡両顧問の挨拶の後、後藤会長の乾杯の発声。出席者は25人で、和やかな懇談・懇親となった。遅れて駆け付けられた高井顧問の挨拶の後、深津司会の独壇場。後藤会長、高橋副理事長、遠藤・大川両理事の余興を織り入れながら、ゲーム感覚の即興俳句合戦を展開、ベスト3に景品付き。終始笑い声に包まれて、鈴木節夫副理事長の中締め挨拶の後、一之瀬監事による記念撮影。午後7時にお開きとなった。



平成二十六年 NPO法人横浜金沢文化協会新年会

川浪舎人会員の 色鉛筆植物画教室

色鉛筆で植物の四季の移り変わりを描き始めて早や十年。3年前から熊本NHKカルチャーセンターで色鉛筆植物画教室を開いたのをきっかけに、県立大船植物園と金沢公会堂で教室を開いた。教室では、24色以上の色鉛筆を使って、写真サイズのケント紙に植物を観察しつつ二時間で描く。植物によっても異なるが、春夏秋冬を蕾から美しい開花・葉の紅葉・可愛い結実・趣きのある枯れた様子など、一年を通じて描くので、植物の力強い生命力を実感できる。またヒマワリやスイセンなど花によっては、真横や真裏からと色々な角度から描くことにより不思議な味わいが出てくる。植物をよく観察してより良い絵を描ければと願っている。一緒に描きませんか。



※金沢公会堂教室に関する問い合わせ先
☎090~5435~7300川浪舎人

歴史と文化の薫る街づくり NPO法人横浜金沢文化協会 会員を募集中です

当協会は、武蔵国金沢以来の伝統をふまえ、次世代を展望しつつボランティア精神をもって、地域文化振興の中核となる事業を行い、各種の文化活動を通じて、地域文化の総合的発展に寄与することを目的としています。

活動の種類

- 学術、文化、芸術の振興を図る活動
- 社会教育の推進を図る活動
- まちづくりの推進を図る活動
- 子どもの健全育成を図る活動、その他

事業

- 地域文化振興の中核となる事業
- 歴史、史跡、文化財等の調査・伝承・保全事業
- その他、当法人の目的達成に必要な事業

活動部門

- ◎総合文化部 ◎絵画部 ◎書道部 ◎写真部 ◎手工芸部 ◎文芸部 ◎歴史部 ◎楽器部
◎合唱部 ◎声楽部 ◎邦楽部 ◎吟剣詩舞部 ◎華道部 ◎茶道部 ◎郷土芸能部 ◎謡曲部
◎民謡民舞部 ◎陶芸部 ◎邦舞部 ◎洋舞部 ◎朗読部 ◎武道部 ◎児童文化部 ◎一般文化部

年会費

- 個人 2,000円
 団体 7,500円(会員25人以下)
 10,500円(会員26人~50人)
 15,000円(会員51人以上)

横浜金沢文化協会員の個人または団体が行う行事で、当協会の共催または後援が必要な場合は、申請書の審査により、名義使用の許可と、資金援助を年1回限度で実施しています。

会員の募集

主として金沢区に居住・在勤・活動されている方で、当協会の目的に賛同し、活動またはご協力等を頂ける個人または団体の皆様。入会及び問合せは、右記「問合わせ先」まで、ご連絡願います。



問合わせ先

NPO法人横浜金沢文化協会
 事務局長 坂(ばん)直孝
 電話 045-785-6722

☆☆金沢区に文化ホールを☆☆

賛助会員紹介

金沢区旅館組合 会長 小宮山 勲

ほぼ自然が残っていた昭和30年代のゆったり時間が流れる中、都会の喧騒を忘れ、潮干狩りに、海水浴に、釣りにと旅館に宿泊する人々も見られ、順調に過ぎて行きました。しかし平成に入り、旅館のみならず各種の個人商店に危機が訪れます。大手スーパーやショッピングセンター等の進出、高速道路の充実、新幹線の目覚ましい発展により関東近辺は言うに及ばず、北は仙台、西は大阪辺りまで日帰り圏内となり、そして企業の不況と重なり、多くの個人商店が廃業に追い込まれました。旅館も例外ではなく、横浜市内の旅館軒数は十分の一となり、金沢区では24軒から僅か6軒に減りました。ここ金沢は海と緑に囲まれた歴史的にも魅力のある地ですので、現在は、「おもてなしの心」と、お接待の気持ち「を込め、繁栄させるべく頑張っているところ」です。最近やや回復の兆しが見えて来て、八景島の観光、工業団地内のニッパツ・三菱重工等、予約もぼちぼち入り、以前に近づいて来ました。今後も、観光協会と協力して昔の金沢八景の賑わいを取り戻すよう頑張っていく所存です。

株式会社 光洋

昨年4月に、HIDA様よりこの研修センターを受け継ぎ、光洋スクエア(横浜研修センター)として新たにスタートいたしました。建物は、一部を光洋本社として使用しつつ、300名収容の客室、大小多様な教室、230席を誇る食堂施設などを有しています。

光洋は創業40年間、大人用紙おむつメーカーとして、更には病院内利便施設の運営を手掛けてきており、介護・医療分野をサポートし続けて参りました。今後も、この光洋スクエアの稼働を機に、商品・サービスの提供に留まらず、『人づくり・モノづくり』に積極的に取り組み、この横浜金沢の活性化にも寄与していきたいと考えています。ぜひ地元の皆様にも当センターを大いに活用いただきたく、あわせて今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※住所 横浜市金沢区福浦1-15-1
 TEL 045-1701-2146



